

2023年度 活動報告概要

1. 活動概要

- 1) 第1回学術技術交流会(2023/8/7:@宮城) 参加(竹内)
- 2) 第2回学術技術交流会(2023/9/11:@愛知) 参加(竹内)
- 3) 第3回学術技術交流会(2023/12/12:@千葉) 参加(竹内)
- 4) 総会・第4回学術交流会(2024/3/8:@愛知) 参加(竹内)

2. 外部発表(2023年度)

以下の外部発表を実施。

- 1) 高強度ロープ用ワイヤ開発:資源素材 2023(松山)ワイヤロープ分科会
- 2) 極間磁化方式全磁束法による吊橋ハンガーロープ定着部の検査
:資源素材 2023(松山)ワイヤロープ分科会
- 3) 耐摩耗性を重視したラッピング用ワイヤ定盤の開発:2023 精密工学会秋季大会(共著)

3. 賢材へ取組み

弊社はワイヤロープをはじめとするロープ・ケーブル類の総合メーカーとして、「Total Cable Technology」を掲げ、材料、製造、点検・調査・補修などの周辺技術まで広く製品・サービスを提供しています。

今年、新一万円札の顔となる澁澤栄一翁が創業者の一人であり、彼の唱えた「道德経済合一」の理念による「共存共栄」という社是の下で、社会に貢献できる企業活動を進めております。

製品としてはタイヤコードのような細いものから、吊り橋用ケーブル（ケーブル径約1m）のように太いものまで、幅広い分野で使用され、それぞれの分野で常に最高品質の製品を開発しています。

近年ではインフラの老朽化対策として、橋梁用ケーブルの非破壊検査方法を実用化し、さらに軽量化や作業性改善を進める一方で、新しい検査技術の開発も行っています。

昨年には事業活動の基盤として、SDGsに向けた取組みを明確にし、「共存共栄」を軸に重要課題の設定を行い、サステナブル経営への取組みを宣言しました。今後、自然環境と共存するための取組みをさらに強化し、賢い技術や賢い製品、すなわち賢いモノづくり・サービスを目指し、安心・安全な社会に貢献していく所存である。

相変わらず、地味な会社ではありますが、今後ともよろしくお願ひします。

以上